

Coffee Market Report

August 2023



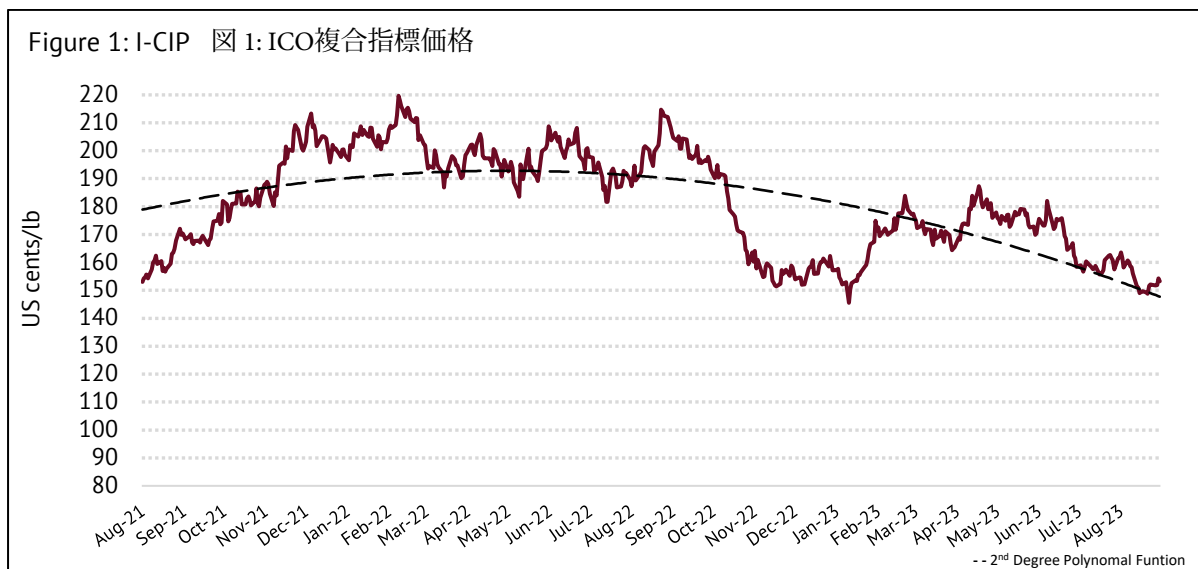
INTERNATIONAL
COFFEE
ORGANIZATION

8月のアラビカとロブスタの価格動向は連動を再開し、ロブスタは過去最高水準を維持した

- 8月のICO総合指標価格 (I-CIP)は154.53セント (USセント/ポンド、以下同様)で、中央値は152.10セント、価格レンジは148.79~163.62セントだった。
- 8月のロブスタ指標価格は124.62セントで過去最高水準を維持した。
- コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は2023年7月にマイナス2.91セントに逆転した後、8月はプラスに戻って0.82セントだった。
- ロンドン先物市場とニューヨーク先物市場の間で測定された裁定取引は、8月は1.6%縮小して45.23セントだった。
- I-CIPのボラティリティは一貫して下降し、0.8ポイント低下の7.0%だった。
- ニューヨークとロンドンの認証在庫はそれぞれ3.0%と34.6%減少し、ニューヨークアラビカは57万袋に迫り、ロンドンロブスタは58万袋に達してこの20年の最低水準となった。
- 2023年7月の世界の生豆輸出量は合計931万袋で、前年同時期の930万袋と比較して0.1%増加した。
- アザーマイルドの7月輸出量は220万袋で前年同時期の255万袋から13.7%減少した。
- ブラジルナチュラルの7月の生豆輸出量は2.8%増の260万袋だった。
- コロンビアマイルドの輸出量は、2022年7月の101万袋から2023年7月は8.1%減少して93万袋だった。
- ロブスタの輸出量は、2022年7月の322万袋に対して2023年7月は359万袋で11.6%増加した。
- 南米地域の7月の輸出量は2.2%減の416万袋で、要因としてコロンビアとペルーがそれぞれ17.1%と37.5%減少したことがある。
- アフリカ地域の輸出量は、2022年7月の139万袋から2023年7月は137万袋となり1.1%減少した。
- メキシコおよび中米地域の輸出量は、2022年7月の151万袋と比較して9.4%増加し166万袋だった。
- アジアおよびオセアニア地域の7月の輸出量は6.2%減の301万袋だったが、2022/23コーヒー年度の経過10か月間 (7月までの累計) では2.7%増の3,857万袋だった。
- ソリュブルコーヒーの輸出量は2022年7月の100万袋から2023年7月は16.6%減の84万袋だった。
- 焙煎豆の輸出量は2022年7月の65,601袋に対して2023年7月は12.7%減の57,299袋だった。
- 2021/22コーヒー年度の世界のコーヒー生産量は前年度比1.4%減の1億6,850万袋だった。しかしながら、2022/23年には1.7%増の1億7,130万袋に回復すると予想されている。世界のコーヒー消費量は2021/22コーヒー年度は4.2%増の1億7,560万袋となった。2022/23コーヒー年度は1.7%増の1億7,850万袋と予想されている。
- その結果、現在の状況では、世界のコーヒー市場は2年連続の供給不足と予想され、2022/23コーヒー年度は730万袋の不足が見込まれる。

グリーンコーヒー価格

8月のICO総合指標価格 (I-CIP)は154.53セント (USセント/ポンド、以下同様) で、中央値は152.10セント、価格レンジは148.79~163.62セントだった。



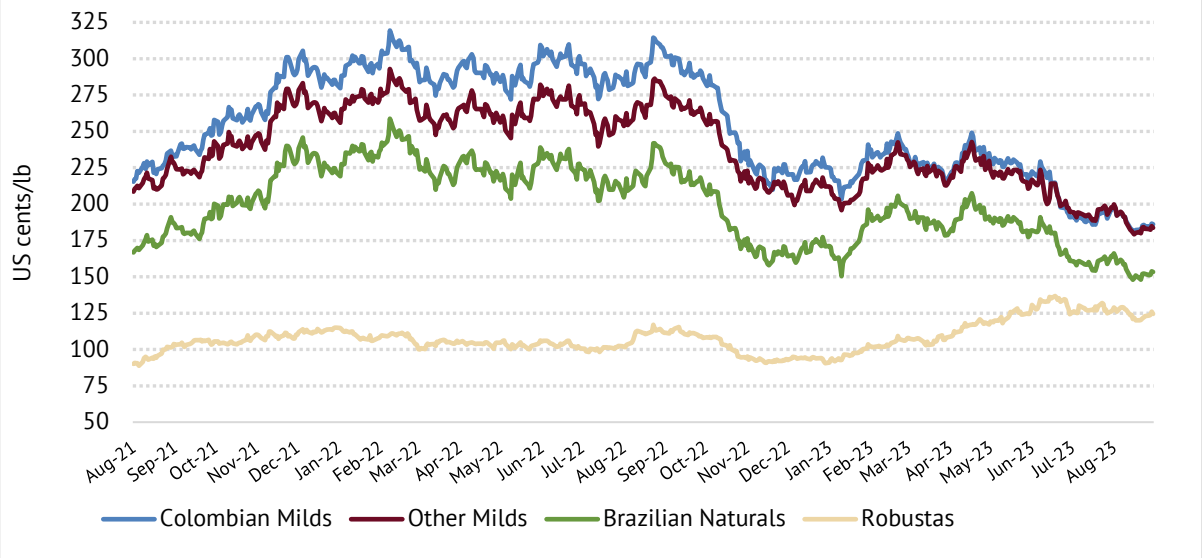
8月のロブスタ指標価格は124.62セントで過去最高水準を維持した。コロンビアマイルドとアザーマイルドはそれぞれ1.6%および3.5%下落し187.55セントおよび186.73セントだった。アザーマイルドは下落率が大きかったことから価格はコロンビアマイルドを下回った。ブラジルナチュラルとロブスタはそれぞれ3.0%と2.3%下落し154.66セントおよび124.62セントだった。ニューヨーク先物市場は1.9%下落、またロンドン先物市場は2.0%下落し、それぞれ156.56セントと111.34セントだった。

コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は2023年7月にマイナス2.91セントに逆転した後、8月はプラスに戻って0.82セントだった。コロンビアマイルドとブラジルナチュラルの価格差は5.8%拡大し32.89セント、一方、コロンビアマイルドとブラジルナチュラルの価格差は0.1%縮小して62.93セントだった。アザーマイルドとブラジルナチュラルの価格差、アザーマイルドとロブスタの価格差、ブラジルナチュラルとロブスタの価格差は、いずれも 5.7%縮小、5.8%縮小、5.9%縮小し、それぞれ32.07セント、62.11セント、30.04セントだった。

8月のコロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は大きく縮小して推移し、34営業日にわたってマイナス（逆転）の価格差が続いた後、8月10日にプラスに戻った。1 か月ぶりのプラス圏に戻って8月を終えたが、価格差がこのような低い水準となったのは4年半ぶりである。

7月下旬から8月にかけて、アラビカとロブスタの価格変動のデカップリング（非連動）は解消し、価格は連動して動いている。2023年4月以降、価格の代替効果に関連する圧力によりアラビカとロブスタの価格変動はデカップリングし、高級品質への需要が減退する一方で、より価格競争力のあるコーヒーが支持されてきた。しかしながら、現在では価格差が十分に縮小しており、需要に対する相対的な価格指向への変化（アラビカ対ロブスタ）が終焉を迎えている可能性があることを示しているようだ。

Figure 2: ICO Group Indicator Daily Prices 図 2: ICOグループ指標価格



ロンドン先物市場とニューヨーク先物市場の間で測定された裁定取引は、2023年8月に1.6%縮小して45.23セントだった。これは2020年6月の44.73セント以来の低い水準である。

ICO複合指標価格の8月のボラティリティは一貫して下降し、0.8ポイント低下して7.0%だった。アザーマイルドのボラティリティが最も大きく低下し、3.7ポイント低下の7.3%だった。コロンビアマイルドとブラジルナチュラルも7.5%と8.8%に低下した。ロブスタのボラティリティは2.3ポイント低下して8.7%だったが、ロンドン先物市場のボラティリティは0.2ポイント上昇し9.4%だった。一方、ニューヨーク先物市場のボラティリティはロンドンとは逆方向に動いて0.5ポイント低下して8.6%だった。

図 3: ニューヨークとロンドン先物市場のアービトラージ

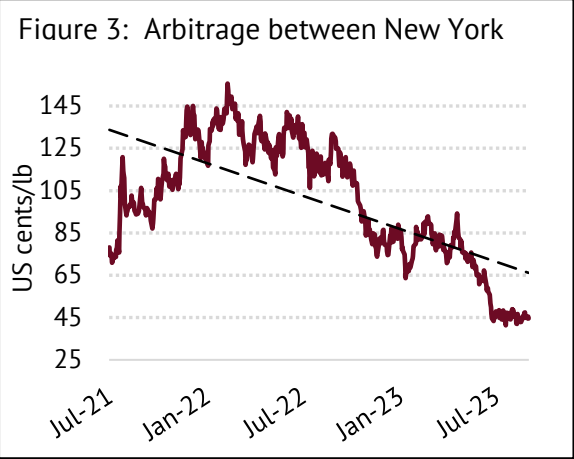
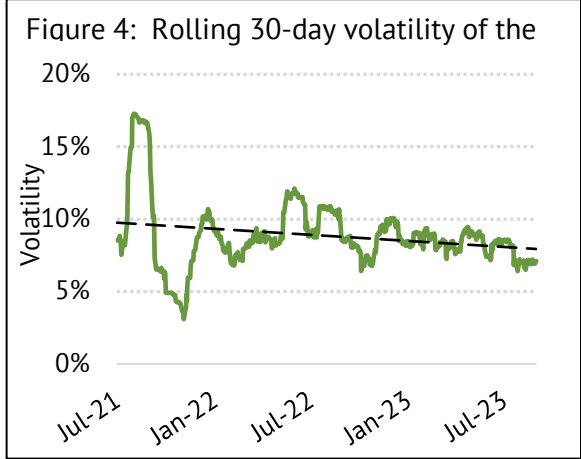
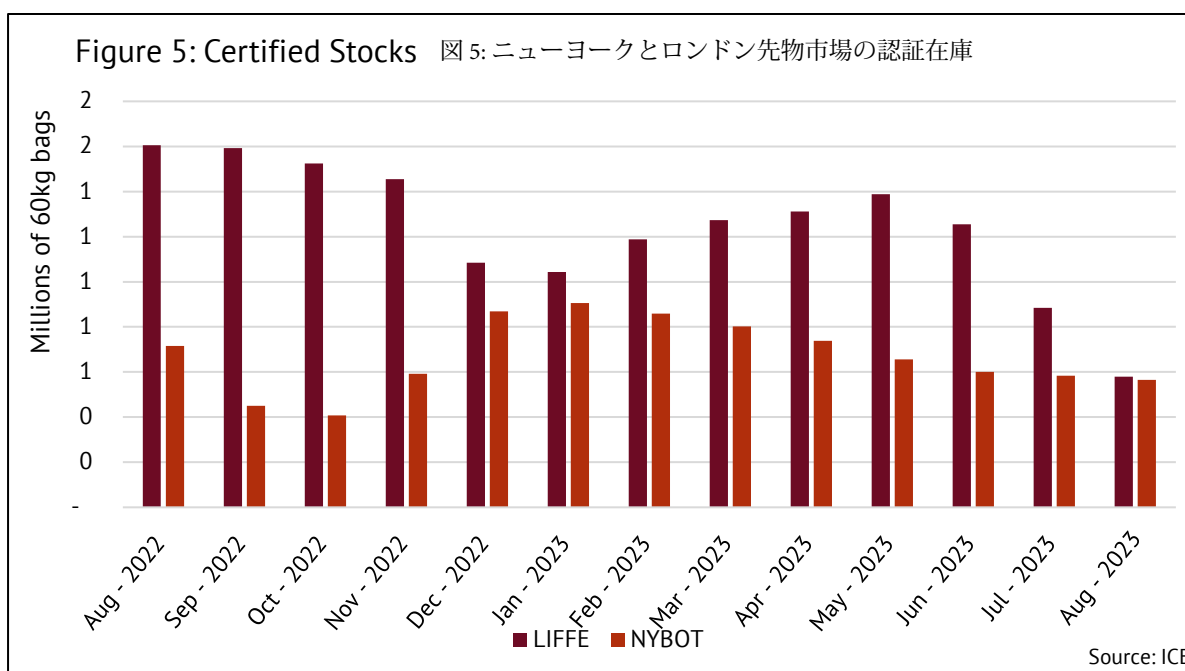


図 4: ICO複合指標価格のボラティリティ30日移動平均



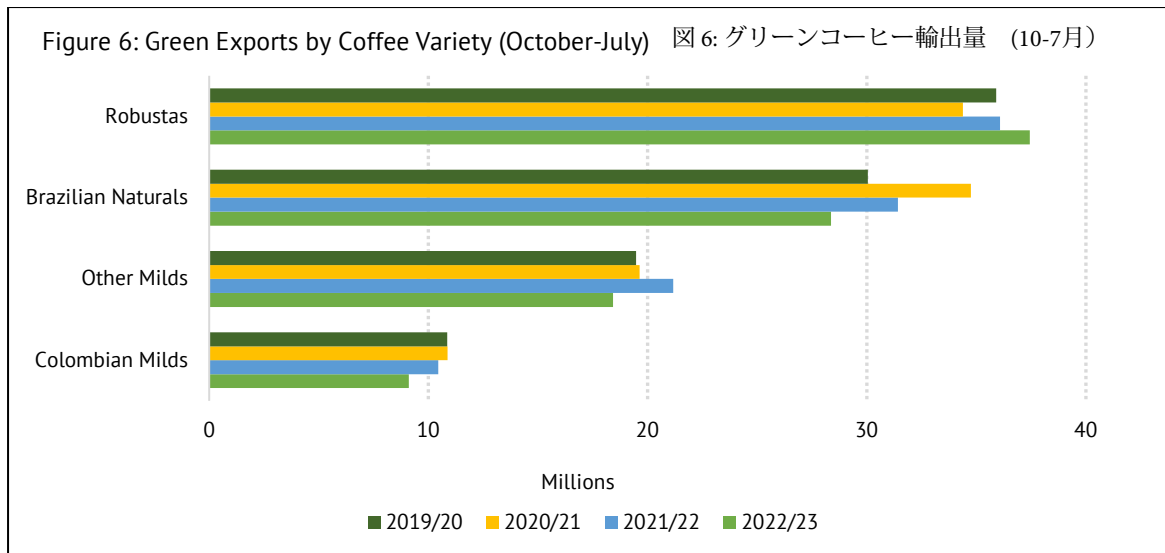
ニューヨークとロンドンの認証在庫はそれぞれ3.0%と34.6%減少し、ニューヨークアラビカは57万袋に迫り、ロンドンロブスタは58万袋に達してこの20年の最低水準となった。



価格下落圧力の要因として、グリーンコーヒー調達行動が世界的に積極的でないことが挙げられる。実際、現在および過去のコーヒー年度（2021/22および2022/23）では、合計1,440万袋の需給ギャップ（生産量不足）が見込まれているが、現状、消費と輸出の間には明らかなデカップリングが見られる。消費量が減少したというエビデンスはほとんどないものの、今年度の輸出量は5.7%減少している。もっともらしい説明としては在庫の取り崩しが考えられる。新型コロナウイルス感染症のパンデミック中、バイヤー、焙煎業者、トレーダーはコーヒーの大量の在庫を積み上げており、これは品質が劣化する前に消費する必要がある。コーヒーの年ごとに輸出量が減少傾向にあり、ICO複合指標価格に負の圧力がかかっている理由を説明するのに役立つかもしれない。おそらく、在庫の広範な取崩しは、先物取引市場の認証在庫の歴史的最低水準にあることから示唆されている。

コーヒーグループ別の輸出量 - 生豆

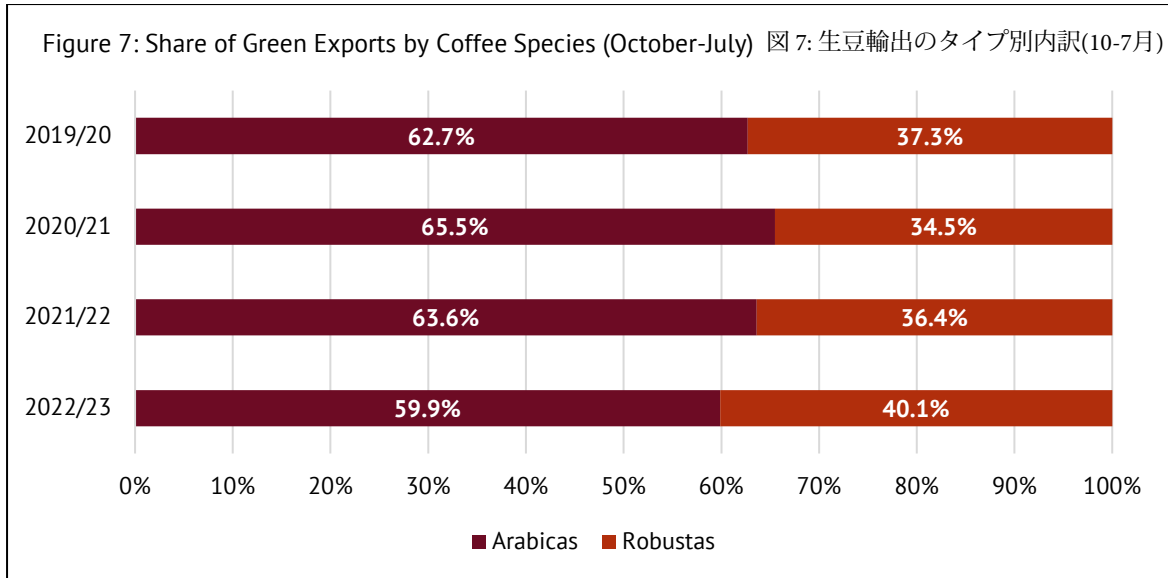
2023年7月の世界の生豆輸出量は合計931万袋で、前年同時期の930万袋と比較して0.1%増加に止まった。2022/23コーヒー年度の7月までの累計は9,356万袋で、前年同時期の9,920万袋と比べて5.7%減少した。



アザーマイルドの7月輸出量は220万袋で前年同時期の255万袋から13.7%減少した。この結果、累積輸出量は減少を続け、2022/23年度の7月までの累計は1,864万袋となり、前年度同時期の2,122万袋と比べて12.2%減少した。

ブラジルナチュラルの7月の生豆輸出量は2.8%増の260万袋だった。2022/23コーヒー年度の経過10か月間では2,840万袋で前年同時期の3,145万袋から9.7%減少した。ブラジルナチュラルの輸出動向は、グループ最大の生産国かつ輸出国であるブラジルの生豆輸出量の変化に依拠しており、同国の7月輸出量は前年の243万袋から270万袋（10.8%）に増加した。

コロンビアマイルドの輸出量は、2022年7月の101万袋から2023年7月には8.1%減少して93万袋だった。主因はグループ最大の生産国コロンビアの低迷によるもので、同国の7月の生豆輸出量は16.0%減少した。コロンビアマイルドの輸出量減少は13か月連続となり、その結果、2022年10月から2023年7月までの同グループのコーヒー輸出量は911万袋で、前年度同時期の1,046万袋に対して12.9%減少した。



ロブスタの生豆輸出量は、2022年7月の322万袋に対して2023年7月には359万袋で11.6%増加した。ロブスタの輸出量増加は4か月連続であり、この結果、2022年10月から2023年7月までの累計輸出量は、前年度同時期の3,608万袋と比較して3.8%増加の3,745万袋だった。

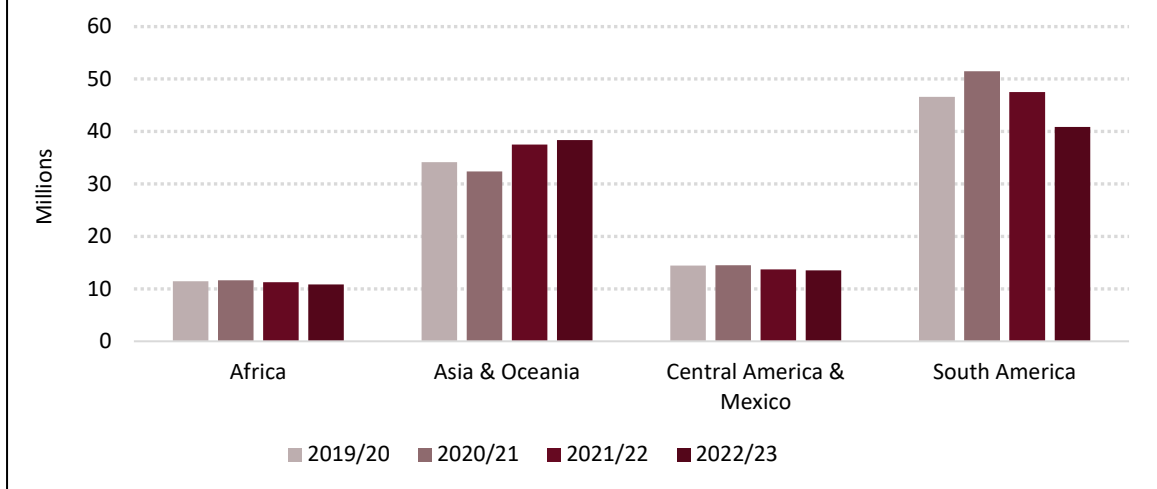
地域別の輸出量 - コーヒー全形態

南米地域の7月の輸出量は2.2%減の416万袋で、要因としてコロンビアとペルーがそれぞれ17.1%と37.5%減少したことがある。

コロンビアの輸出減少は13か月連続しており、これは過去2008年7月から2010年3月まで、22か月連続の輸出量の減少を記録して以来2番目の長期間に及ぶ。その結果、2022/23年のコーヒー年最初の10か月間におけるコロンビアの輸出量は879万袋に減少し、724万袋のコーヒーが出荷された2012/13年のコーヒー年以来、同じ10か月間で最低の水準となった。輸出低迷の原因は気象要因によって引き起こされた栽培や生産上の問題が大半である。しかしながら、2023年6月以降は価格代替が輸出低迷の主な要因となっているようで、需要がアラビカ、即ちコロンビアが最大の生産者であるコロンビアマイルドからアザーマイルドへと切り替わっている。

ペルーでは天候も輸出の急減に影響した。ペルー国立統計情報研究所（INEI）は、2023年6月の生産量1.9%減少の背景には降雨量の増加があり、供給可能量の減少が輸出量に波及した可能性があるとして報告した。しかしながら、2023年7月の極端に大きな減少幅は、7月としては過去10年間で最大の輸出量を記録した2022年7月（64.7%増）の反動減が反映されている（2013～2022年平均34万袋に対し40万袋）。

Figure 8: Total Exports by Producing Regions (October-July) 図 8: 生産地域別輸出量 (10-7月)



アフリカ地域の輸出量は、2022年7月の139万袋から2023年7月は137万袋となり1.1%減少した。今コーヒー年度の経過10か月間の輸出総額は、前年度同時期の1,127万袋に対して3.8%減の1,084万袋だった。輸出量の減少率は相対的に低いが、このために地域の生産国レベルでの変動が見え難い状態となっている。2つの生産国（タンザニアとウガンダ）では、7月に合計でプラス23.6%という大幅な輸出増加を記録したが、他の2つの生産国(コートジボワールとエチオピア)では、合計でマイナス26.7%という大幅な減少を記録している。エチオピアは現地の購入価格と世界市場価格の不一致から生じた契約紛争が引き続き輸出量に悪影響を及ぼしており、輸出業者は紛争が解決するまでコーヒーの引渡しを保留している。ウガンダの7月輸出量は12.0%増加したが、これは南西部地域での豊作と輸出業者の在庫放出が寄与したものだ。

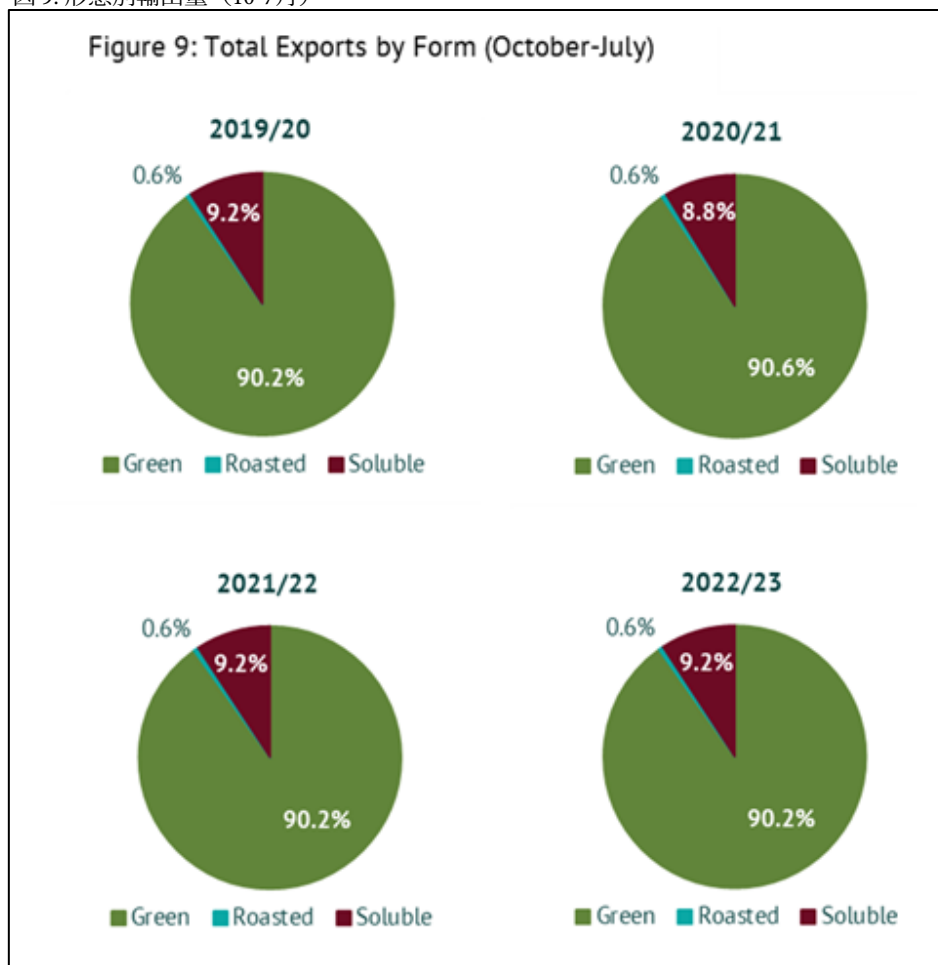
メキシコおよび中米地域の7月の輸出量は、前年7月の151万袋に対して9.4%増加して166万袋だった。この結果、2022年10月から2023年7月までの累計輸出量は1,346万袋、前年同時期の1,371万袋に対して1.8%の減少まで回復した。7月の輸出量増加の原動力はホンジュラスだった。

アジアおよびオセアニア地域の7月の輸出量は6.2%減の301万袋、2022/23コーヒー年度の経過10か月累計は2.7%増の3,857万袋である。7月の減少は地域の上位4生産国、インド(-3.5%)、インドネシア(-9.7%)、パプアニューギニア(-25.9%)、ベトナム(5.1%)に起因している。

形態別のコーヒー輸出量

ソリュブルコーヒーの7月輸出量は84万袋で前年7月の100万袋から16.6%減少、2022/23コーヒー年度の経過10か月の累計輸出量は958万袋で、前年度同時期の1,016万袋から5.7%減少した。全形態のコーヒー輸出量に占めるソリュブルコーヒーのシェアは、2023年7月時点で9.2%で前年同時期と同一水準だった。ブラジルはソリュブルコーヒー最大の輸出国で7月の輸出量は31万袋だった。

図 9: 形態別輸出量 (10-7月)



焙煎豆の輸出量は、2022年7月の6万5,601袋に対し2023年7月は12.7%減の5万7,299袋だった。2022/23コーヒー年度の7月までの累計は60万袋で前年度同時期は67万袋だった。

生産量と消費量

現状、2021/22年度および2022/23年度のコーヒー生産量と消費量の推定値および見通しに変更は無い。

2021/22コーヒー年度の世界コーヒー生産量は前年度比1.4%減の1億6,850万袋だった。裏年の隔年結果および多くの主要生産国での悪天候が減少要因となった。しかし、2022/23年度には1.7%増の1億7,130万袋に回復すると予想されている。世界的な肥料コストの上昇と悪天候により、ブラジルの表年の隔年結果の生産量増加が部分的に相殺されることが想定され、このために2022/23年度における生産量増加率は比較的低いものとなっている。アラビカの2022/23コーヒー年度生産量は前年度の7.2%減少に対して4.6%増加して9,860万袋と予想され、表年の隔年結果の好影響が見込まれる。生産量の循環的な変動を反映して、コーヒー総生産量に占めるアラビカのシェアは、2021/22年度の55.9%から2022/23年度は57.5%に増加すると予想される。

南米地域の生産量は2021/22コーヒー年度に7.6%減少を記録し、ほぼ20年ぶりの大幅な生産量減少となったが、現在そして今後も世界最大のコーヒー生産地域であり続けるだろう。2022/23コーヒー年度は隔年結果の影響もあり回復が見込まれ、地域の生産量は6.2%増の8,240万袋に達すると予想されている。

2021/22年コーヒー年度の世界のコーヒー消費量は、2020/21年度の0.6%増に続き、4.2%増の1億7,560万袋だった。新型コロナウイルスの流行時期に蓄積した需要の顕在化と、2021年の6.0%という急激な世界経済の成長によって、2021/22年度におけるコーヒー消費量の急激な回復を示した。2022年および2023年の世界経済の減速は、生活費の劇的な上昇と相まって2022/23年度のコーヒー消費量に影響を与えるだろう。消費量は増加が見込まれるものの、その増加率は1.7%に減速して消費量は1億7,850万袋と予想される。世界的なコーヒー消費の減速は非生産国に起因していると想定され、ヨーロッパ地域のコーヒー消費量の減速が最も著しい。同地域の消費量は2021/22コーヒー年度の6.0%増から2022/23コーヒー年度は0.1%増に低下すると予測されている。

その結果、世界のコーヒー市場の需給関係は2年連続の供給不足と予想され2022/23年度は730万袋の不足が見込まれている。

(後略)

表 1: ICO 指標価格と先物価格 (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Jul-22	190.82	286.07	255.91	214.80	100.44	210.84	89.60
Aug-22	200.11	295.66	268.43	221.91	109.65	218.53	98.75
Sep-22	199.63	294.09	267.49	219.59	111.36	218.24	100.49
Oct-22	178.54	261.95	240.08	192.27	103.01	191.72	92.16
Nov-22	156.66	223.22	213.85	166.54	92.59	164.80	82.67
Dec-22	157.19	224.12	210.24	169.00	93.76	166.21	83.95
Jan-23	156.95	218.91	206.76	170.03	95.98	159.80	85.82
Feb-23	174.77	238.39	229.73	195.18	103.93	180.93	94.26
Mar-23	170.03	225.23	222.36	187.02	106.49	176.17	96.60
Apr-23	178.57	234.85	229.56	195.26	115.70	187.30	105.43
May-23	175.48	226.93	220.12	186.80	122.55	183.13	112.56
Jun-23	171.25	211.85	207.39	176.48	132.13	174.54	119.23
Jul-23	158.88	190.58	193.49	159.50	127.58	159.57	113.62
Aug-23	154.53	187.55	186.73	154.66	124.62	156.56	111.34
% change between Jul-23 and Aug-23							
	-2.7%	-1.6%	-3.5%	-3.0%	-2.3%	-1.9%	-2.0%
Volatility (%)							
Jul-23	7.8%	8.1%	11.0%	9.1%	9.0%	9.1%	9.2%
Aug-23	7.0%	7.5%	7.3%	8.8%	8.7%	8.6%	9.4%
Variation between Jul-23 and Aug-23							
	-0.8	-0.6	-3.7	-0.3	-0.3	-0.5	0.2

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 2: 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds Other Milds	Colombian Milds Brazilian Naturals	Colombian Milds Robustas	Other Milds Brazilian Naturals	Other Milds Robustas	Brazilian Naturals Robustas	New York* London*
Sep-22	26.60	74.50	182.74	47.90	156.13	108.23	117.74
Oct-22	21.87	69.68	158.94	47.82	137.07	89.25	99.56
Nov-22	9.37	56.68	130.63	47.31	121.26	73.95	82.13
Dec-22	13.88	55.12	130.36	41.24	116.48	75.24	82.26
Jan-23	12.15	48.88	122.93	36.73	110.78	74.05	73.97
Feb-23	8.66	43.21	134.46	34.55	125.80	91.25	86.67
Mar-23	2.87	38.21	118.74	35.34	115.87	80.53	79.57
Apr-23	5.30	39.60	119.15	34.30	113.86	79.56	81.88
May-23	6.81	40.13	104.38	33.32	97.57	64.25	70.57
Jun-23	4.46	35.36	79.72	30.90	75.26	44.36	55.31
Jul-23	-2.91	31.09	63.00	34.00	65.91	31.92	45.95
Aug-23	0.82	32.89	62.93	32.07	62.11	30.04	45.23
% change between Jul-23 and Aug-23							
	-128.0%	5.8%	-0.1%	-5.7%	-5.8%	-5.9%	-1.6%

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 3: 世界のコーヒー需給バランス

Coffee year commencing	2017	2018	2019	2020	2021	2022*	% change 2022/21
PRODUCTION	167,568	169,884	168,387	170,868	168,485	171,268	1.7%
Arabica	97,862	99,615	96,670	101,577	94,248	98,559	4.6%
Robusta	69,707	70,269	71,717	69,290	74,237	72,709	-2.1%
Africa	17,428	18,523	18,698	19,281	19,132	19,405	1.4%
Asia & Oceania	52,214	48,069	49,307	47,912	52,102	49,713	-4.6%
Mexico & Central America	21,475	21,361	19,321	19,747	19,655	19,726	0.4%
South America	76,453	81,934	81,064	83,937	77,596	82,424	6.2%
CONSUMPTION	165,637	170,876	167,593	168,569	175,605	178,534	1.7%
Exporting countries	51,575	52,234	51,441	52,518	53,615	55,369	3.3%
Importing countries (Coffee Years)	114,062	118,642	116,152	116,051	121,991	123,165	1.0%
Africa	11,707	11,921	12,034	12,552	12,877	13,403	4.1%
Asia & Oceania	38,819	39,572	39,198	41,289	42,828	44,162	3.1%
Mexico & Central America	5,667	5,805	5,857	5,882	5,967	6,124	2.6%
Europe	53,523	55,449	53,953	52,237	55,359	55,388	0.1%
North America	29,939	31,789	30,581	30,228	31,679	32,078	1.3%
South America	25,981	26,340	25,969	26,381	26,895	27,379	1.8%
BALANCE	1,932	-992	794	2,298	-7,120	-7,266	

*preliminary estimates

表 4: 輸出国の総輸出量

	Jul-22	Jul-23	% change	Year to Date Coffee Year		
				2021/22	2022/23	% change
TOTAL	10,371	10,206	-1.6%	110,030	103,736	-5.7%
Arabicas	6,653	6,220	-6.5%	68,703	61,616	-10.3%
Colombian Milds	1,119	1,008	-9.9%	11,434	10,002	-12.5%
Other Milds	2,782	2,425	-12.8%	23,407	20,994	-10.3%
Brazilian Naturals	2,752	2,787	1.3%	33,861	30,621	-9.6%
Robustas	3,718	3,986	7.2%	41,327	42,119	1.9%

In thousand 60-kg bags

Monthly trade statistics are available upon subscription

表 5: ニューヨークとロンドン先物市場の認証在庫

	Aug-22	Sep-22	Oct-22	Nov-22	Dec-22	Jan-23	Feb-23	Mar-23	Apr-23	May-23	Jun-23	Jul-23	Aug-23
New York	0.72	0.45	0.41	0.59	0.87	0.91	0.86	0.80	0.74	0.66	0.60	0.58	0.57
London	1.61	1.59	1.52	1.45	1.08	1.04	1.19	1.27	1.31	1.39	1.25	0.89	0.58

In million 60-kg bags